



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～
～学校だより 巻頭言として～

令和7年10月31日(金)
発行：摂津市立別府小学校
校長 河平 浩一

～コミュニティ・スクール～「地域とともにある学校づくり」をめざして～

汗ばむ陽気が過ぎ、秋が深まり、朝夕の風に季節の移り変わりを感じる頃となりました。

いよいよ、運動会が今週末、11月1日(土)に開催されます。子どもたちは、体育の授業だけでなく、休み時間や放課後にも自主的にダンスなどの団体演技やリレーの練習に取り組み、一生懸命に頑張っています。

今年の運動会は、多くの種目で子どもたちがアイデアを出し、自分のこととして考えながらつくり上げてきました。高学年を中心に、運動会の進行や運営も子どもたち自身が担い、それぞれが役割をもって運動会を成功させようとしています。今年は子どもたちの頑張りを形にするため、点数制を復活し、応援合戦も例年になく盛り上がりを見せています。ぜひ当日は、子どもたち一人ひとりが輝き、仲間と力を合わせて頑張る姿をご覧ください。



運動会全体練習



地区運動会

この間、別府小学校の校区では、地区運動会、地域行事「別府リンピック」、PTAまつりなど、地域や保護者の皆さんが中心となって、子どもたちのためにさまざまな行事を企画・運営してくださいました。準備や当日の運営など、地域の皆さんのご尽力に心より感謝申し上げます。これらの行事に共通しているのは、「子どもたちの笑顔を真ん中に据えた活動」であったということです。

子どもたちは、こうした地域の行事に参加する中で、多くの大人と関わりながら、人と人とのつながりの温かさを感じていきます。保護者や地域の方々からの「がんばってるね」などの一言が、子どもたちにとって大きな励ましとなり、地域の中で見守られているという安心感や誇りを育てています。このような地域に根ざした経験こそが、「このまちで育ってよかった」と思える原体験となり、子どもたちの心に残っていくのだと感じます。

本校では、教育目標に掲げる「誰もが楽しく幸せに過ごせる別府小学校」の実現をめざし、保護者や地域と連携した教育活動を進めています。そのためにも、コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)として取り組んでいます。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことをいい、全国的にも広がりを見せています。摂津市では本校を含め5校がこの取組を進めており、本校はそのモデル校の一つとなっております。地域や保護者の委員の方々と「子どもたちを真ん中に据えた学校づくり」について意見を交わし、少しずつ協働の輪が広がり始めていると感じております。

学校・家庭・地域が互いに手を取り合い、子どもたちを真ん中にした取組を重ねることで、子どもたちは「この地域で生まれ育ってきた」と実感できるようになります。そうした実感が、「この別府小学校区で育ってよかった」という誇りへとつながっていくのだと思います。

今後とも、地域の皆さん、保護者の皆さんとともに、「子どもが主役の学校づくり」に向けて歩んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



別府リンピック